

小木の子 われら

校区内
全戸回覧

令和8年3月5日発行

「ありがとう」の思いをカタチに

～「人のためにすることは巡り巡って自分に返ってくる」の巻～

校長 本間 智英

令和7年度もあと2週間ほどとなりました。4月に小木小学校へ赴任し、下級生が上級生を「〇〇兄（にい）」「△△姉（ねえ）」と親しみを込めて呼ぶ姿に触れたときの、あの温かな気持ちが昨日のここのようによみがえります。



6年生ありがとう会
保護者の方もアーチに参加

2月27日（金）の「6年生ありがとう会」では、5年生を中心に、1年生から5年生までの子どもたちが力を合わせ、これまで学校を支えてくれた6年生への感謝の思いをカタチにした心温まるひと時となりました。各学年の発表一つ一つに、6年生への敬意と親しみが込められ、体育館は終始温かい雰囲気に包まれていました。下級生の子どもたちが、この会を創り上げることができたのは、この1年間、**6年生が積み重ねてきた姿**があったからこそです。登校班での見守り、委員会活動での責任のある行動、行事での率先した取り組みなど、目立たない場面での思いやりや努力が、**下級生の心に確かに届いていたのだ**と感じました。

「情けは人のためならず」ということわざがあります。人にかけての親切や思いやりは巡り巡って自分に返ってくる、という意味です。**6年生がこれまで示してきたやさしさや誠実さが**、「ありがとう会」というカタチになって返ってきたのではないのでしょうか。

学校教育目標「なかよく かしこく たくましい子」のもと、本校が大切にしているのは、学力の向上だけでなく、**人と人との関わりの中で育まれる心の成長**です。今回の会は、子どもたちが互いに学び合い、支え合っていることを改めて実感する機会となりました。

子どもたちの様子をご覧になり、保護者の皆様はどんな思いを抱かれたでしょうか。子どもたちの成長を支えていただいている保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。これからも子どもたちの温かなつながりを大切にしながら教育活動を進めてまいります。